

II 九州女子大学各学部履修規程

1. 九州女子大学家政学部履修規程

第1章 総 則

(学則との関係)

第1条 家政学部（以下「本学部」という。）の授業科目履修については、学則に定めるもののほか、この履修規程による。

(学科及びコース)

第2条 本学部に次の学科及びコースを置く。

学 科	コース
生活デザイン学科	家庭科教育コース
	インテリアデザインコース
	ライフデザインコース
栄 養 学 科	

2 生活デザイン学科のコースへの所属は、別に定める手続きを経て、1年次の後期初めに決定する。

(教職課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程及びK-CIP科目)

第3条 教育職員免許状（以下「教員免許状」という。）を得ようとする者は、教職課程履修願を提出し、教職課程履修登録を行わなければならない。

2 教職課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

3 図書館司書課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

4 学校図書館司書教諭課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

5 K-CIP科目の授業科目及びその履修方法については別に定める。

第2章 履 修

(単位区分と年次配当)

第4条 卒業資格を得るための、単位修得区分及び授業科目の年次配当は、別表1から別表7による。

(授業科目の区分と種類)

第5条 授業科目を総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目及び留学生特別科目に区分する。

2 前項の授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分類する。

3 必修科目は、卒業までにすべて修得しなければならない。

4 選択科目は、卒業資格を得るための最低修得単位数を超えるように修得しなければならない。

5 自由科目の修得単位数は、卒業資格を得るための単位数に算入できない。

6 自由選択科目（別表 5）は、図書館司書課程科目、学校図書館司書教諭課程科目及び K-CIP 科目、自学科で単位修得した科目のうち卒業に要する単位数を超える科目、及び自学部他学科もしくは他学部で単位修得した科目とする。

7 留学生特別科目（別表 7）は、外国人留学生のみを対象として開講する科目である。外国人留学生がこの科目を修得した場合、総合共通科目の該当する区分の単位数に算入する。

（授業科目等の公示）

第 6 条 開講する授業科目、担当教員及び授業時間割等は年度初めに公示する。

（授業の出欠席と公認欠席）

第 7 条 授業に際しては出席の確認を行う。

2 授業を欠席するとき又はしたときは、欠席届を担当教員に提出しなければならない。

3 病気その他の事故のため、欠席が 1 週間以上にわたるときは、欠席届に医師の診断書を添付し、担当教員に提出しなければならない。

4 次の各号に該当するものは、公認欠席（以下「公欠」という。）とする。

(1) 忌引

父母（7 日）、祖父母・兄弟姉妹（3 日）、叔父叔母・伯父伯母（2 日）

(2) 出校停止

学校保健安全法で定められた疾病について定められた期間

(3) 学外実習（遠距離移動日を 1 日含む）

(4) 交通スト、交通機関の事故

(5) 就職試験、対外試合、発表会

5 定期の学外実習を除いて、公欠に際しては、公欠願を提出しなければならない。

（履修制限）

第 8 条 各年次に履修できる単位数の上限は、次のとおりとする。

学 年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
単位数	48	48	48	48

ただし、成績優秀者等の履修上限については 48 単位を超えて履修を認めることができる。

2 前項の履修できる単位数には、自由選択科目及び自由科目は含まない。

（履修申告）

第 9 条 当該年度に受講を希望する授業科目の履修申告（履修登録）は、所定の期間内に別に定める手続を経て、届け出なければならない。

2 履修申告していない授業科目については、受講しても単位を修得することはできない。

3 単位を修得した授業科目は、再び受講することはできない。

4 履修申告した授業科目の変更は、変更期間内に申告しなければならない。

5 履修申告は、授業科目年次配当表に従って行うものとし、上級年次配当の授業科目履修申告は、原則としてこれを認めない。

(授業科目の単位算定の基準)

第10条 各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じて次のとおり単位数を定める。ただし、1時限(90分)を2時間として計算する。

- (1) 講義については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間と15時間の自修の授業をもって1単位とする。ただし、「調理技術基礎演習」「調理技術発展演習」「プロに学ぶ食育実践演習」「教職実践演習(中等)」「教職実践演習(栄養教諭)」については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。
ただし、「教育実習」については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。
- (4) 実技については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。
- (5) 一つの授業科目について、前各号の規定する授業方法のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、それぞれの授業方法ごとの単位数の算定基準を考慮して定める時間の授業をもって1単位とする。

(受講制限)

第11条 授業科目はその内容、教室の収容定員等により受講人数を制限することがある。

(欠 講)

第12条 授業科目の一部については、年度によって開講しないことがある(隔年開講等)。

(履修科目の単位認定)

第13条 履修した科目の単位の認定は、各授業科目担当教員が平素の研究状況、授業期間中の評価及び試験(追試験、再試験を含む。)等を総合的に判断して評価し、合格した者には、その履修科目の所定の単位が与えられる。

- 2 学納金を滞納している者は、単位認定を受けることはできない。
- 3 単位認定された科目は、取り消すことはできない。
- 4 単位認定及び成績評価については、年度末に確定する。原則としてそれ以降の変更は行わないものとする。

(成績の評価)

第14条 履修科目の単位認定における成績の評価は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、「キャリア基礎演習Ⅰ」「キャリア基礎演習Ⅱ」「キャリア基礎演習Ⅲ」の成績は、認定あるいは不可で評価を表わす。

- 2 前項の評価は次の基準による。

- (1) 秀 100点～90点
- (2) 優 89点～80点
- (3) 良 79点～70点

(4) 可 69点～60点

(5) 不可 59点以下

(試験)

第15条 試験には授業期間中の試験、追試験及び再試験がある。

2 試験の方法は、筆記の他に、口述・実技・レポートなどで実施することもある。

3 受験に際しては、次の事項に注意すること。注意事項を厳守しなかった者は当該科目の単位を与えない。

(1) 学生の本分を自覚して、厳正な態度でのぞみ、不正行為があってはならない。

(2) 特に許可された教科書、ノート等以外は、すべて身辺に置いてはならない。物品の貸借は一切禁止する。

(3) 答案用紙の指定欄に、学科・学籍番号・氏名等を記入する。無記入の答案は無効とする。

(4) 試験室には、試験開始後20分を経過すれば入室できない。また、開始後20分を経なければ退室できない。

(受験資格)

第16条 次の各号のいずれかに該当する者は、全部又は当該科目について、受験することができない。

(1) 試験を受けようとする授業科目をその年度において履修登録をしていない者(当該科目)

(2) 既に修得した授業科目を再び受験しようとする者(当該科目)

(3) 授業料その他学納金を滞納している者(全科目)

ただし、納入延期を認められた者は、仮に受験を認める。

(4) 授業科目の受講回数が開講回数の3分の2に満たない者(当該科目)

(5) 受験中に学生証又は仮学生証を持参していない者(当該科目)

(6) 試験開始後20分以上遅刻した者(当該科目)

(7) 追・再試験に際して、追再試受験料納付書の領収書を持参していない者

あるいはレポートの場合に領収書のコピーを添付していない者(当該科目)

(受験上の注意)

第17条 試験場においては、次の諸注意に従わなければならない。

(1) 試験場には、学生証又は仮学生証を携行しなければならない。

(2) 試験中、監督の指示に従わなければならない。

(3) 答案用紙は、たとえその試験を放棄する場合でも必ず提出しなければならない。

(4) その他、受験上の注意事項は、別に定める。

(試験の不正行為)

第18条 試験において不正行為があった者は、当該期の全科目の単位を無効とする。

2 特に悪質であった者に対しては、学則第50条により処分する。

(追 試 験)

第19条 授業期間中の試験の公欠（以下「特別公欠」という。）及び病気その他やむを得ない理由により、試験を受けることができなかった者が、その旨願い出た場合は、当該科目の追試験をおこなう。

- 2 追試験を受けようとする者は、その理由を証明する診断書又は適当な書類を添付した追試験受験料納付書に追試験料を添えて提出しなければならない。
- 3 追試験料については、別に定める。ただし、特別公欠者の追試験料は免除する。
- 4 追試験は、期日を定めて1回限りおこなう。
- 5 追試験受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。
- 6 追試験の評価は次のとおりとする。
 - (1) 特別公欠者の評価点は、試験の得点の100%とする。
 - (2) 病欠者等の評価点は、試験の得点の80%とする。

(再 試 験)

第20条 授業期間中の評価で不合格の授業科目があった者及び追試験の受験要件に該当しない理由で受験しなかった者については、担当教員の判断により、当該科目の再試験をおこなう場合がある。

- 2 再試験の実施の有無については、シラバス及び授業中の担当教員からの指示による。
- 3 再試験を受けようとする者は、再試験受験料納付書に再試験料を添えて提出しなければならない。
- 4 再試験料については、別に定める。
- 5 再試験は、期日を定めて1回限りおこなう。
- 6 再試験受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。
- 7 再試験の評価は試験の得点の80%とし、評価点は最高60点とする。

(他の学部又は本学部他学科の授業科目の履修)

第21条 他の学部又は本学部他学科の授業科目を履修しようとする者は、あらかじめ学部長に申し出て、授業科目担当教員の承認及び学長の許可を必要とする。

- 2 学生の所属する学科以外の本学部他学科又は他学部が開設する専門教育科目のうち、共通開設科目以外の授業科目は別に定める手続きを経て、他の自由選択科目の修得単位数と合わせて18単位まで自由選択科目として卒業要件修得単位数に算入することができる。
- 3 前項の単位数を超えて修得した授業科目の単位は、卒業要件単位には算入しない。

第22条 他の大学、短期大学又は高等専門学校の特攻科における授業科目の履修は、当該学生の所属する学科において教育上有益と認めるときに限り、学長がこれを許可する。

- 2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

(再履修)

第23条 単位を修得できなかった授業科目については、再履修することができる。

2 再履修を希望する授業科目については、第9条に定める履修申告をしなければならない。

第3章 進級・卒業見込み及び卒業研究

(学年の進級)

第24条 進級は学年の初めとする。

2 2年次から3年次への進級は、学生と教員の面談に基づいて教育運営委員会において審議し、学長が決定する。

(卒業見込証明書)

第25条 卒業見込証明書は、前年度末までに卒業要件単位数のうち90単位以上を修得した4年次に在学する者に交付される。

(卒業研究)

第26条 本学部学生は、卒業研究(「キャリア発展ゼミナール」)を履修しなければならない。

2 卒業研究の取扱いとは別に定める。

第4章 聴講生・特別聴講学生

(聴講生)

第27条 本学部の授業科目を聴講生として聴講を許可される者は、学則第18条に定める者について、学長が許可する。

2 聴講生の身分及び取り扱いについては、本規程に定めるもののほか、学則その他の諸規定を準用する。

(出願の時期及び手続)

第28条 聴講生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(聴講の許可)

第29条 聴講生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が聴講を許可する。

(聴講期間)

第30条 聴講生の聴講期間は1年以内とする。

(登録料及び聴講料)

第31条 登録料及び聴講料は、学則第63条に定めるところによる。

(聴講科目の制限)

第32条 聴講できない授業科目については別に定める。

(聴講生の心得)

第33条 聴講生は、学内諸規程を守らなければならない。

2 聴講生として不適当であると認められたときは、聴講許可を取り消すことがある。

(特別聴講学生)

第34条 特別聴講学生については、別に定める。

第5章 科目等履修生

(科目等履修生)

第35条 本学の学生以外で1又は複数の授業科目の履修を希望する者（以下「科目等履修生」という。）に対しては、学長が履修を許可する。

- 2 科目等履修生として志願できる者は、学則第18条に該当する者とする。
- 3 科目等履修生で、当該授業科目の試験等に合格した者には、所定の単位を与える。
- 4 単位の認定については、学則第33条を準用する。
- 5 単位を修得した授業科目については、本人の願出により単位修得証明書を交付することができる。
- 6 科目等履修生の身分及び取り扱いについては、本規程に定めるもののほか、学則その他の諸規定を準用する。

(科目等履修生の履修資格)

第36条 科目等履修生として本学部の授業科目履修を許可される者は、学則第18条に定める資格を有する者及び大学において科目等履修生として適当であると認めた者とする。

(出願の時期及び手続)

第37条 科目等履修生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(科目等履修生の期間)

第38条 科目等履修生の期間は、許可された授業科目の授業が終了する学期末までとする。ただし、引き続き履修を希望する場合は、学長が許可し、その期間を更新することができる。

(科目等履修生の許可)

第39条 科目等履修生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が履修を許可する。

(登録料及び履修料)

第40条 科目等履修生として本学部の授業科目の履修を許可された者の登録料及び履修料は、学則第63条に定めるところによる。

(履修科目の制限)

第41条 科目等履修生は、教職課程の教育実習は履修できない。（ただし、本学及び九州女子短期大学卒業生は除く。）

(単位認定)

第42条 科目等履修生でその受講した授業科目の試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

- 2 科目等履修生で本学又は他の大学で単位を修得した者が、本学部の正規の課程に入学した場合、学長が本学部の単位として算入することを認めることができる。

(科目等履修生の心得)

第43条 科目等履修生は、学内諸規程を守らなければならない。

- 2 科目等履修生として不適当であると認められたときは、履修許可を取り消すことがある。

第6章 学士入学、編入学、転入学及び転部・転科

(学士入学者、編入学者、転入学者及び転部・転科の単位認定)

第44条 学則第21条、第22条、第23条及び第25条の規定により、学士入学、編入学、転入学及び転部・転科を許可された学生の単位認定は、本学部、学科における授業科目及びその単位数に相当すると認められる場合の単位を認定する。

(入学前の既修得単位の認定)

第45条 新たに1年次に入学を許可された者で、学則第37条に該当する者は、60単位を超えない範囲で、本学で履修したものとみなし、単位を認定する。

2 既修得単位の認定を希望する者は、別に定める所定の期日までに必要な書類を提出しなければならない。

(転部・転科・コース変更)

第46条 転部・転科を希望する者は、理由を付した願書を所属する学科長を通して学部長に提出しなければならない。

2 前項で受け入れる学科は、別に定める方法で選考を行い、学長がこれを許可する。

3 転部・転科ができるのは、2年次又は3年次の学年始めとし、受け入れ学科に欠員がある場合に限る。

4 一度転部・転科した学生は再度転部・転科はできない。

5 転部・転科についての出願の期間は毎年2月末日までとする。

6 1年次の後期に所属を決定した本学部生活デザイン学科のコースの変更は、学長が各年次の初めに認めることがある。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 転科者への適用は平成14年度以降とする。

3 学士入学者及び編入学者への適用は平成15年度以降とする。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。ただし、別表4のうち「臨地実習」の項目に該当する授業科目については、平成14年度以降の入学者から適用する。

附 則

この規程は、平成17年4月1日から施行する。ただし、別表4のうち「栄養教諭論Ⅰ・Ⅱ」及び別表5の「教職に関する専門教育科目」に関しては、平成15年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行し、平成19年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、海外留学先の大学等の教育施設で修得した単位の認定は、第24条の規定にかかわらず、平成21年度以前の入学者について従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(単位区分、授業科目等に関する経過措置)

2 第2条及び第4条の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

(単位区分、授業科目等に関する経過措置)

2 第2条の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正後の規程は、令和3年度入学者（学士入学者、編入学者で令和3年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和4年度入学者（学士入学者、編入学者で令和4年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和5年度入学者（学士入学者、編入学者で令和5年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和5年度入学者（学士入学者、編入学者で令和5年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和7年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和7年度入学者（学士入学者、編入学者で令和7年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和8年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和8年度入学者（学士入学者、編入学者で令和8年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

別表 1 卒業に要する単位の修得区分

生活デザイン学科		
総合共通科目		30 単位
(必修科目)		5 単位
(選択科目)		25 単位
専門教育科目		76 単位
(必修科目)	学部共通科目	2 単位
	学科共通科目	15 単位
	ゼミナール科目	6 単位
(選択科目)		53 単位
自由選択科目		18 単位
合 計		124単位
総合共通科目 次の各区分ごとに所定の単位を履修し、合計30単位以上を修得すること。 (必修を含む。) 教養教育科目（文化・芸術領域） 2 単位以上 教養教育科目（歴史・社会領域） 2 単位以上 教養教育科目（人間・環境領域） 2 単位以上 言語・異文化理解科目 5 単位以上 情報教育科目 2 単位以上 キャリア教育科目 3 単位以上 自由選択科目 自由選択科目18単位には、次の(1)から(5)の科目を履修し修得した単位のうち、合計18単位を限度とする単位数を充てる。 (1)図書館司書課程科目 (2)学校図書館司書教諭課程科目 (3)K-CIP 科目 (4)自学科で単位修得した科目のうち、卒業に要する単位数を超える科目 (5)自学部他学科もしくは他学部で単位修得した科目		

栄養学科		
総合共通科目		30 単位
(必修科目)		11 単位
(選択科目)		19 単位
専門教育科目		94 単位
(必修科目)	学部共通科目	6 単位
	専門基礎分野	40 単位
	専門分野	48 単位
自由選択科目		
合 計		124単位
総合共通科目 次の各区分ごとに所定の単位を履修し、合計30単位以上を修得すること。 (必修を含む。) 教養教育科目（文化・芸術領域） 2 単位以上 教養教育科目（歴史・社会領域） 2 単位以上 教養教育科目（人間・環境領域） 2 単位以上 言語・異文化理解科目 5 単位以上 情報教育科目 2 単位以上 健康教育科目 2 単位以上 キャリア教育科目 7 単位以上		

別表2 総合共通科目年次配当表（家政学部共通）

区分		授 業 科 目	科目の種類 及び単位数		授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
			必修	選択自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
教養教育科目	文化・芸術領域 歴史・社会領域	ことばと日本文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)					※()はいずれかの時期で履修（以下同様）	
		ことばと異文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		情報文化論	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		スポーツの文化	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		歴史と国際情勢	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
	人間・環境領域	現代国家と法(日本国憲法)	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)					教免必修	
		暮らしと経済	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)					教免必修(生活デザイン学科のみ)	
		人権・同和教育	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		人間と哲学	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		生命と地球	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
心の科学	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)								
言語・異文化理解科目		共生社会を生きる	2		講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
	日本語表現法Ⅰ	1		演習		2								教免必修 教免必修	
	日本語表現法Ⅱ	1		演習			2								
	日本語表現法Ⅲ	1		演習				2							
	英語Ⅰ	1		演習	2										
	英語Ⅱ	1		演習		2									
	英語コミュニケーションⅠ	1		演習			2								
	英語コミュニケーションⅡ	1		演習				2							
	実用英語	1		演習					2						
	中国語Ⅰ	1		演習	2										
	中国語Ⅱ	1		演習		2									
	中国語Ⅲ	1		演習			2								
	中国語Ⅳ	1		演習				2							
	実用中国語	1		演習					2						
	韓国語Ⅰ	1		演習	2										
	韓国語Ⅱ	1		演習		2									
	韓国語Ⅲ	1		演習			2								
	韓国語Ⅳ	1		演習				2							
	実用韓国語	1		演習					2						
	情報教育科目	イングリッシュワークショップ	1		演習	(2)	(2)	(2)	(2)						
海外研修		2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	年間を通して適切な時期に行う	
情報処理演習Ⅰ		1		演習	2										
情報処理演習Ⅱ		1		演習		2									
情報処理演習Ⅲ		1		演習			2								
情報処理演習Ⅳ		1		演習				2							
情報科学概論		2		講義	2										
データサイエンス		2		講義		2									
アルゴリズムとプログラミング		2		講義			2								
I C T 活用法		2		講義				2							
情報処理技術	2		講義					2							
健康 目育	ス ポ ー ツ	1		実技	(2)	(2)							教免必修		
	健康の科学	2		講義	(2)	(2)							栄養学科必修・教免必修		
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	キャリア基礎演習Ⅰ	1		演習	*	*							年間を通して適切な時期に行う	
		キャリア基礎演習Ⅱ	1		演習			*	*						
		キャリア基礎演習Ⅲ	1		演習					*	*				
		キャリアデザインⅠ	1		演習						2			年間を通して適切な時期に行う	
		キャリアデザインⅡ	1		演習						2				
		インターンシップⅠ	2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*		*
	キャリア発展領域	インターンシップⅡ	2		実習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
		スキルアップ講座B	1		演習	2									生活デザイン学科に開講 生活デザイン学科に開講 栄養学科に開講 栄養学科に開講 栄養学科に開講 栄養学科に開講
		スキルアップ講座C	1		演習		2								
		スキルアップ講座D	1		演習					2					
		スキルアップ講座E	1		演習						2				
		スキルアップ講座K	1		演習			2							
		スキルアップ講座L	1		演習				2						
		スキルアップ講座M	1		演習					2					
		スキルアップ講座N	1		演習						2				
スキルアップ講座R	1		演習			2									
スキルアップ講座S	1		演習				2								

別表３－１ 生活デザイン学科専門教育科目年次配当表

区 分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
		必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学 部 共 通 科 目	家 政 学 概 論	2			講 義	2								教免必修 教免必修 教免必修
	人 間 関 係 論		2		講 義				2					
	統 計 学		2		講 義				2					
	カウンセリング論		2		講 義				2					
	フードスペシャリスト論		2		講 義					2				
	食品の官能評価・鑑別論		2		講 義					2				
	教 職 概 論		2		講 義	2								
	教 育 原 論		2		講 義		2							
	教 育 心 理 学		2		講 義		2							
学 科 共 通 科 目	生活デザイン概論	2			講 義	2								
	生活デザイン演習	3			演 習	2	4							
	家族関係学（生活福祉を含む。）	2			講 義	2								
	消 費 生 活 論	2			講 義		2							
	被 服 学	2			講 義	2								
	食 物 学	2			講 義		2							
	住居学（製図を含む。）	2			講 義	2								
コ ー ス 科 目	保育学（実習及び家庭看護を含む。）		2		講 義					2				
	生活経営学（生活経済学を含む。）		2		講 義				2					
	家 庭 電 気 ・ 機 械		2		講 義			2						
	家庭科情報処理演習		1		演 習			2						
	被 服 構 成 学		2		講 義		2							
	被服構成学実習Ⅰ		1		実 習			4						
	アパレルCAD演習		1		演 習				2					
	被服構成学実習Ⅱ		1		実 習				4					
	被服構成学実習Ⅲ		1		実 習							4		
	食 品 学		2		講 義	2								
	栄 養 学		2		講 義						2			
	調 理 学		2		講 義		2							
	調理学実習Ⅰ		1		実 習				4					
	調理学実習Ⅱ		1		実 習					4				
	調理学実習Ⅲ		1		実 習						4			

別表３－２ 生活デザイン学科専門教育科目年次配当表

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数		授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
					1 年		2 年		3 年		4 年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
コース科目	色 彩 学	2		講 義	2									
	地 域 住 宅 地 計 画	2		講 義						2				
	住 居 管 理 学	2		講 義					2					
	イ ン テ リ ア 計 画	2		講 義		2								
	建築・インテリア設計入門Ⅰ	1		演 習		2								
	建築・インテリア設計入門Ⅱ	1		演 習			2							
	建 築 計 画 Ⅰ	2		講 義			2							
	建 築 計 画 Ⅱ	2		講 義					2					
	建 築 史	2		講 義						2				
	建 築 環 境 工 学	2		講 義				2						
	建 築 設 備 学	2		講 義						2				
	建 築 一 般 構 造 学	2		講 義				2						
	建 築 構 造 力 学	2		講 義					2					
	建 築 材 料 学	2		講 義					2					
	建 築 施 工 学	2		講 義						2				
	建 築 法 規	2		講 義					2					
	建築・インテリア設計演習Ⅰ	2		演 習				4						
	建築・インテリア設計演習Ⅱ	2		演 習					4					
	建築・インテリア設計演習Ⅲ	2		演 習						4				
	建築・インテリア設計演習Ⅳ	2		演 習							4			
	建築・インテリア設計演習Ⅴ	2		演 習								4		
	インテリアデザイン演習Ⅰ	2		演 習					4					
	インテリアデザイン演習Ⅱ	2		演 習						4				
	地域生活学演習Ⅰ	2		演 習				2	2					
	地域生活学演習Ⅱ	2		演 習						2	2			
	被 服 科 学	2		講 義		2								
	被 服 科 学 演 習	1		演 習		2								
	服飾デザイン論（アパレル企画を含む）	2		講 義					2					
	工 芸 染 色 実 習	1		実 習								4		
	フードコーディネート論	2		講 義				2						
	食品流通・消費論	2		講 義				2						
	食品・調理学実験	1		実 験				4						
	食 品 衛 生 学	2		講 義						2				
	社会調査法演習	1		演 習						2				
	マーケティング論	2		講 義				2						
	販 売 管 理 論	2		講 義					2					
	流 通 管 理 論	2		講 義						2				
	パーソナルファイナンス	2		講 義						2				
	リテールマーケティング	2		講 義							2			
	ファイナンシャルプラン	2		講 義							2			
	調理技術基礎演習	2		演 習				2						
	調理技術発展演習	2		演 習					2					
	プロに学ぶ食育実践演習	2		演 習						*	*		年間を通して適切な時期に行う	
ゼミナール科目	ゼ ミ ナ ー ル Ⅰ	1		演 習				2						
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅱ	1		演 習					2					
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅲ	1		演 習						2				
	ゼ ミ ナ ー ル Ⅳ	1		演 習							2			
	キャリア発展ゼミナール	2		演 習							*	*	年間を通して適切な時期に行う	

別表 4－1 栄養学科専門教育科目年次配当表

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
		必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
学部 共通 科目	家 政 学 概 論	2			講 義	2								教職課程関連科目 (教職課程履修者のみ受講可) 教免必修	
	人 間 関 係 論		2		講 義				2						
	統 計 学	2			講 義			2							
	カウンセリング論		2		講 義			2							
	フードスペシャリスト論		2		講 義					2					
	食品の官能評価・鑑別論	2			講 義					2					
	教 職 概 論		2		講 義	2									
	教 育 原 論		2		講 義		2								
	教 育 心 理 学		2		講 義		2								
専 門 基 礎 分 野	社 会 ・ 環 境 と 健 康														
	栄養情報論実習	1			実 習					4					
	公 衆 衛 生 学Ⅰ	2			講 義					2					
	公 衆 衛 生 学Ⅱ	2			講 義						2				
	実 践 疫 学	2			講 義				2						
	人 体 の 構 造 と 機 能 及 び 疾 病 の 成 り 立 ち														
	基礎生化学(基礎化学を含む。)	2			講 義	2									
	基礎生化学実験(基礎化学を含む。)	1			実 験		4								
	解 剖 生 理 学Ⅰ	2			講 義		2								
	解 剖 生 理 学Ⅱ	2			講 義			2							
	解 剖 生 理 学 実 験	1			実 験			4							
	生 化 学Ⅰ	2			講 義		2								
	生 化 学Ⅱ	2			講 義			2							
	生 化 学 実 験	1			実 験				4						
	病 態 生 理 学Ⅰ	2			講 義				2						
	病 態 生 理 学Ⅱ	2			講 義					2					
	病 態 生 理 学 実 習	1			実 習					4					
	食 べ 物 と 健 康														
	食 品 学Ⅰ	2			講 義		2								
	食 品 学Ⅱ	2			講 義			2							
	食 品 学 実 験	1			実 験				4						
	食 品 衛 生 学	2			講 義		2								
	食 品 衛 生 学 実 験	1			実 験			4							
食 品 加 工 学	2			講 義					2						
食 品 加 工 学 実 習	1			実 習					4						
調 理 学	2			講 義	2										
実践調理学実習Ⅰ	1			実 習	4										
実践調理学実習Ⅱ	1			実 習		4									

別表 4-2 栄養学科専門教育科目年次配当表

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数		授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
					1 年		2 年		3 年		4 年			
		必修	選択自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専 門 分 野	基 礎 栄 養 学													
	基 礎 栄 養 学	2			講 義	2								
	基 礎 栄 養 学 実 験	1			実 験						4			
	応 用 栄 養 学													
	応 用 栄 養 学 I	2			講 義		2							
	応 用 栄 養 学 II	2			講 義			2						
	応 用 栄 養 学 実 習	1			実 習				4					
	食 事 摂 取 基 準 論	2			講 義		2							
	栄 養 教 育 論													
	栄 養 教 育 論 I	2			講 義				2					
	栄 養 教 育 論 II	2			講 義					2				
	栄 養 教 育 論 III	2			講 義					2				
	栄 養 教 育 論 実 習	1			実 習					4				
	臨 床 栄 養 学													
	臨 床 栄 養 学	2			講 義					2				
	臨 床 栄 養 学 実 習	1			実 習					4				
	臨 床 栄 養 ア セ ス メ ン ト 論	2			講 義						2			
	臨 床 栄 養 ア セ ス メ ン ト 論 実 習	1			実 習						4			
	臨 床 栄 養 生 化 学	2			講 義				2					
	臨 床 栄 養 病 態 学	2			講 義						2			
	公 衆 栄 養 学													
	公 衆 栄 養 学 I	2			講 義					2				
	公 衆 栄 養 学 II	2			講 義						2			
	公 衆 栄 養 学 実 習	1			実 習						4			
	給 食 経 営 管 理 論													
	給 食 管 理	2			講 義		2							
	給 食 管 理 実 習 I	1			実 習			4						
	給 食 管 理 実 習 II	1			実 習				4					
	給 食 経 営 論	2			講 義					2				
	総 合 演 習													
	管理栄養士総合演習A	1			演 習						2			
	管理栄養士総合演習B	1			演 習								2	
	管理栄養士総合演習C	1			演 習								2	
	管理栄養士総合演習D	1			演 習							*	*	
	管理栄養士総合演習E	1			演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 1		1		演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 2		1		演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 3		1		演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 4		1		演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 5		1		演 習							*	*	
	実 践 総 合 演 習 6		1		演 習							*	*	
	キャリア発展ゼミナール	1			実験・実習							*	*	
	臨 地 実 習													
	臨地実習Ⅰ（福祉施設・保健所）	1			実 習						*			1 週間（45時間）
	臨地実習Ⅱ（小学校）	1			実 習						*			1 週間（45時間）
臨地実習Ⅲ（病院）	2			実 習								*	2 週間（90時間）	
関連科目	栄 養 教 諭 論 Ⅰ		2	講 義				2					教免必修	
	栄 養 教 諭 論 Ⅱ		2	講 義					2				教免必修	

別表5 自由選択科目年次配当表（家政学部共通）

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要			
		必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年					
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
自由 選 択 科 目	図 書 館 司 書 課 程 科 目	図 書 館 概 論		2		講 義	2								※この区分科目は 生活デザイン学科 のみ履修可能。 ※基礎資格として、 教育職員免許状を 取得すること。		
		生涯学習概論		2		講 義		2									
		情報資源組織論		2		講 義			2								
		情報資源組織演習Ⅰ		1		演 習				2							
		情報資源組織演習Ⅱ		1		演 習					2						
		情報サービス論		2		講 義				2							
		情報サービス演習Ⅰ		1		演 習					2						
		情報サービス演習Ⅱ		1		演 習						2					
		児童サービス論		2		講 義					2						
		図書館情報技術論		2		講 義				2							
		図書館情報資源概論		2		講 義			2								
		図書館サービス概論		2		講 義				2							
		図書館制度・経営論		2		講 義						2					
		図書館サービス特論・図書館情報資源特論		2		講 義								2			
		図書及び図書館史・図書館基礎特論		2		講 義								2			
	学 校 図 書 館 課 程 科 目	学校経営と学校図書館		2		講 義					2				※この区分科目は 生活デザイン学科 のみ履修可能。 ※基礎資格として、 教育職員免許状を 取得すること。		
		学校図書館メディアの構成		2		講 義						2					
		情報メディアの活用		2		講 義							2				
		学習指導と学校図書館		2		講 義								2			
		読書と豊かな人間性		2		講 義								2			
		K ・ C I P 科 目	公務員試験概論		1		演 習	(2)	(2)								
			数的処理Ⅰ		1		演 習		2								
			社会科学Ⅰ		1		演 習		2								
			文章理解		1		演 習				2						
			数的処理Ⅱ		1		演 習				2						
			数的処理Ⅲ		1		演 習					2					
			社会科学Ⅱ		1		演 習				2						
			自然科学		1		演 習				2						
			人文科学		1		演 習					2					
			憲法演習		1		演 習				2						
			行政法演習		1		演 習					2					
			民法（総則、物権）演習		1		演 習				2						
			民法（債権、親族、相続）演習		1		演 習					2					
			ミクロ経済学演習		1		演 習				2						
			マクロ経済学演習		1		演 習					2					
			法律科目演習Ⅰ		1		演 習						2				
			法律科目演習Ⅱ		1		演 習							2			
			経済科目演習Ⅰ		1		演 習						2				
			経済科目演習Ⅱ		1		演 習							2			
			行政科目演習Ⅰ		1		演 習							2			
			行政科目演習Ⅱ		1		演 習									2	
			会計学演習		1		演 習						2				
			専門科目記述式演習		1		演 習							2			
			公務員試験直前対策Ⅰ（教養）		1		演 習						2				
			文章理解演習		1		演 習						2				
	人文科学演習			1		演 習						2					
	公務員試験直前対策Ⅱ（教養）			1		演 習							2				
	社会科学演習			1		演 習							2				
	自然科学演習			1		演 習							2				
	公務員試験直前対策Ⅰ（SPI）			1		演 習						2					
	公務員試験直前対策Ⅱ（SPI）			1		演 習							2				
	公務員試験直前対策Ⅲ（教養）			1		演 習								2			
	公務員試験直前対策Ⅲ（SPI）			1		演 習								2			
	公務員人物試験対策			1		演 習							(2)	(2)			

別表6 教職に関する専門教育科目年次配当表（家政学部共通）

授 業 科 目	科目の種類及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
	必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年		
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
教 育 行 政 学			2	講義					2				生活デザイン学科に開講
特 別 支 援 教 育 論			2	講義					2				
教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）			2	講義			2						
教育課程論（中等）			2	講義			2						
家庭科教育法Ⅰ			2	講義		2							
家庭科教育法Ⅱ			2	講義			2						
家庭科教育法Ⅲ			2	講義				2					
家庭科教育法Ⅳ			2	講義					2				
道德教育指導法（中等）			2	講義					2				
特別活動・総合的な学習の時間指導法			2	講義				2					
生徒・進路指導（中等）			2	講義				2					
生徒・教育相談論（中等）			2	講義					2				
中等教育実習事前事後指導			1	講義					1	1			
中 等 教 育 実 習 Ⅰ			2	実習						*			
中 等 教 育 実 習 Ⅱ			2	実習						*			
教職実践演習（中等）			2	演習								2	
教 育 課 程 論			2	講義			2						
道 徳 教 育 論			2	講義					2				
特別活動・総合的な学習の時間論			2	講義				2					
生 徒 指 導 論			2	講義				2					
教 育 相 談 論			2	講義					2				
事前事後指導（栄養教諭）			1	講義						1			
栄 養 教 育 実 習			1	実習					*	*			
教職実践演習（栄養教諭）			2	演習								2	

													3 週間 120時間 Ⅱは高一種選択
													栄養学科に開講

別表7 留学生特別科目年次配当表（家政学部共通）

授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
					1 年		2 年		3 年		4 年		
	必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
初 級 日 本 語 Ⅰ A		2		演 習	(4)	(4)							総合共通科目の 言語・異文化理解 科目に算入
初 級 日 本 語 Ⅱ A		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅰ B		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅱ B		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅰ C		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅱ C		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅰ D		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅱ D		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅰ E		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 Ⅱ E		2		演 習	(4)	(4)							
日 本 語 講 座 Ⅰ		2		講 義	2								
日 本 語 講 座 Ⅱ		2		講 義		2							
日 本 事 情 Ⅰ		2		講 義	2								総合共通科目の 教養教育科目（文 化・芸術領域）に 算入
日 本 事 情 Ⅱ		2		講 義		2							
比 較 文 化 Ⅰ		2		講 義			2						
比 較 文 化 Ⅱ		2		講 義				2					

2. 九州女子大学人間科学部履修規程

第1章 総 則

(学則との関係)

第1条 人間科学部（以下「本学部」という。）の授業科目の履修については、学則に定めるもののほか、この履修規程による。

(学科及びコース)

第2条 本学部に次の学科及びコースを置く。

学 科	コース
児童・幼児教育学科	児童教育コース 幼児教育・保育コース
心 理・ 文 化 学 科	心理学コース 国語・書道教育コース 文化文芸コース

2 各学科のコースへの所属は、別に定める手続きを経て、1年次の後期初めに決定する。

(教職課程、図書館司書課程、学校図書館司書教諭課程及びK-CIP科目)

第3条 教育職員免許状（以下「教員免許状」という。）を得ようとする者は、教職課程履修願を提出し、教職課程履修登録を行わなければならない。

2 教職課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

3 図書館司書課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

4 学校図書館司書教諭課程の授業科目及びその履修方法については別に定める。

5 K-CIP科目の授業科目及びその履修方法については別に定める。

第2章 履 修

(単位区分と年次配当)

第4条 卒業資格を得るための、単位修得区分及び授業科目の年次配当は、別表1から別表6による。

(授業科目の区分と種類)

第5条 本学部の授業科目は、総合共通科目、専門教育科目、自由選択科目及び留学生特別科目に区分する。

2 前項の授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目に分類する。

3 必修科目は、卒業までにすべて修得しなければならない。

4 選択科目は、卒業資格を得るための最低修得単位数を超えるように修得しなければならない。

5 自由科目の修得単位数は、卒業資格を得るための単位数に算入できない。

6 自由選択科目（別表5）は、図書館司書課程科目、学校図書館司書教諭課程科目及びK-CIP科目、自学科で単位修得した科目のうち卒業に要する単位数を超える科目、及び自学部他学科もしくは他学部で単位修得した科目とする。

7 留学生特別科目（別表6）は、外国人留学生を対象として特別に開講する科目である。

留学生が修得した留学生特別科目の単位は、学長の承認により、総合共通科目、専門教育科目と読み替え、または科目区分の単位数に算入することができる。

（授業科目等の公示）

第6条 開講する授業科目、担当教員及び授業時間割等は年度初めに公示する。

（授業の出欠席と公認欠席）

第7条 授業に際しては出席の確認を行う。

2 授業を欠席するとき又はしたときは、欠席届を担当教員に提出しなければならない。

3 病気その他の事故のため、欠席が1週間以上にわたるときは、欠席届に医師の診断書を添付し、担当教員に提出しなければならない。

4 次の各号に該当するものは、公認欠席（以下「公欠」という。）とする。

(1) 忌引

父母（7日）、祖父母・兄弟姉妹（3日）、叔父叔母・伯父伯母（2日）

(2) 出校停止

学校保健安全法で定められた疾病について定められた期間

(3) 学外実習（遠距離移動日を1日含む）

(4) 交通スト、交通機関の事故

(5) 就職試験、対外試合、発表会

5 定期の学外実習を除いて、公欠に際しては、公欠願を提出しなければならない。

（履修制限）

第8条 各年次に履修できる単位数の上限は、次のとおりとする。

学 年	1年次	2年次	3年次	4年次
単位数	48	48	48	48

ただし、成績優秀者等の履修上限については48単位を超えて履修を認めることができる。

2 前項の履修できる単位数には、自由選択科目及び自由科目は含まない。

（履修申告）

第9条 当該年度に受講を希望する授業科目の履修申告（履修登録）は、所定の期間内に別に定める手続を経て、届け出なければならない。

2 履修申告していない授業科目については、受講しても単位を修得することはできない。

3 単位を修得した授業科目は、再び受講することはできない。

4 履修申告した授業科目の変更は、変更期間内に申告しなければならない。

5 履修申告は、授業科目年次配当表に従って行うものとし、上級年次配当の授業科目履修申告は、原則としてこれを認めない。

（授業科目の単位算定の基準）

第10条 各授業科目の単位数は、1単位の履修時間を45時間の学修を必要とする内容をもつ

て構成することを基準とし、授業方法に応じて次のとおり単位数を定める。ただし、1時限（90分）を2時間として計算する。

(1) 講義については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。

(2) 演習については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。

ただし、以下の学科の科目については、15時間の授業と30時間の自修をもって1単位とする。

児童・幼児教育学科「教職実践演習（初等）」「図画工作」「体育」「器楽基礎」「音楽基礎」「国語科指導法」「社会科指導法」「算数科指導法」「理科指導法」「図画工作指導法」「生活科指導法」「家庭科指導法」「体育科指導法」「音楽科指導法」「器楽応用」「児童英語指導法」「保育内容総論」「造形演習」「乳児保育演習」「子どもの食と栄養」「保育内容指導法（健康）」「保育内容指導法（人間関係）」「保育内容指導法（環境）」「保育内容指導法（言葉）」「保育内容指導法（表現）」「障害児保育」「リトミック」「社会的養護演習」「保育実習指導Ⅰ」「保育実習指導Ⅱ」「施設実習指導Ⅰ」「施設実習指導Ⅱ」「幼児理解・相談論」「子育て支援演習」「保育実践演習」「子どもの理解と援助」「子どもの健康と安全」「幼児と健康」「幼児と人間関係」「幼児と環境」「幼児と言葉」「幼児と表現」

心理・文化学科「心理学統計法Ⅰ」「心理学統計法Ⅱ」「心理的アセスメント」「心理演習」「日本古典文学演習Ⅰ」「日本古典文学演習Ⅱ」「日本近現代文学演習Ⅰ」「日本近現代文学演習Ⅱ」「コース実践演習Ⅰ」「コース実践演習Ⅱ」「コース実践演習Ⅲ」「教職実践演習（中等）」

(3) 実験・実習については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。ただし、以下の科目については、45時間の授業をもって1単位とする。

「保育実習Ⅰ」「保育実習Ⅱ」「施設実習Ⅰ」「施設実習Ⅱ」

(4) 実技については、30時間の授業と15時間の自修をもって1単位とする。

(5) 一つの授業科目について、前各号の規定する授業方法のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、それぞれの授業方法ごとの単位数の算定基準を考慮して定める時間の授業をもって1単位とする。

（受講制限）

第11条 授業科目はその内容、教室の収容定員等により受講人数を制限することがある。

（欠講）

第12条 授業科目の一部については、年度によって開講しないことがある（隔年開講等）。

（履修登録科目の単位の認定）

第13条 履修した科目の単位の認定は、各授業科目担当教員が平素の研究状況、授業期間中の評価及び試験（追試験、再試験を含む。）等を総合的に判断して評価し、合格した者には、その履修科目の所定の単位が与えられる。

2 学納金を滞納している者は、単位認定を受けることはできない。

- 3 単位認定された科目は、取り消すことはできない。
- 4 単位認定及び成績評価については、年度末に確定する。原則としてそれ以降の変更は行わないものとする。

(成績の評価)

第14条 履修科目の単位認定における成績の評価は、秀、優、良、可、不可とし、秀、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、「キャリア基礎演習Ⅰ」「キャリア基礎演習Ⅱ」「キャリア基礎演習Ⅲ」の成績は、認定あるいは不可で評価を表わす。

- 2 前項の評価は次の基準による。

- (1) 秀 100点～90点
- (2) 優 89点～80点
- (3) 良 79点～70点
- (4) 可 69点～60点
- (5) 不可 59点以下

(試験)

第15条 試験は授業期間中の試験、追試験、再試験とする。

- 2 授業科目担当教員の判断により、学期内に小試験、臨時試験を行うことができる。
- 3 課題レポート、口頭発表、制作作品等をもって試験に替えることができる。

(受験資格)

第16条 次の各号のいずれかに該当する者は、全部又は当該科目について、受験することができない。

- (1) 試験を受けようとする授業科目をその年度において履修登録をしていない者
- (2) 既に修得した授業科目を再び受験しようとする者（当該科目）
- (3) 授業料その他学納金を滞納している者（全科目）ただし、納入延期を認められた者は、仮に受験を認める。
- (4) 授業科目の受講回数が開講回数の3分の2に満たない者（当該科目）
- (5) 受験中に学生証又は仮学生証を持参していない者（当該科目）
- (6) 試験開始後20分以上遅刻した者（当該科目）
- (7) 追・再試験に際して、追再試受験料納付書の領収書を持参していない者あるいはレポートの場合に領収書のコピーを添付していない者（当該科目）

(受験上の注意)

第17条 試験場においては、次の諸注意に従わなければならない。

- (1) 試験場には、学生証又は仮学生証を携行しなければならない。
- (2) 試験中、監督の指示に従わなければならない。
- (3) 答案用紙は、たとえその試験を放棄する場合でも必ず提出しなければならない。
- (4) その他、受験上の注意事項は、別に定める。

(試験の不正行為)

第18条 試験において不正行為があった者は、当該期の全科目の単位を無効とする。

2 特に悪質であった者に対しては、学則第50条により処分する。

(追 試 験)

第19条 授業期間中の試験の公欠（以下「特別公欠」という。）及び病気その他やむを得ない理由により、試験を受けることができなかった者が、その旨願い出た場合は、当該科目の追試験をおこなう。

2 追試験を受けようとする者は、その理由を証明する診断書又は適当な書類を添付した追試験受験料納付書に追試験料を添えて提出しなければならない。

3 追試験料については、別に定める。ただし、特別公欠者の追試験料は免除する。

4 追試験は、期日を定めて1回限りおこなう。

5 追試験受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。

6 追試験の評価は次のとおりとする。

(1) 特別公欠者の評価点は、試験の得点の100%とする。

(2) 病欠者等の評価点は、試験の得点の80%とする。

(再 試 験)

第20条 授業期間中の評価で不合格の授業科目があった者及び追試験の受験要件に該当しない理由で受験しなかった者については、担当教員の判断により、当該科目の再試験をおこなう場合がある。

2 再試験の実施の有無については、シラバス及び授業中の担当教員からの指示による。

3 再試験を受けようとする者は、再試験受験料納付書に再試験料を添えて提出しなければならない。

4 再試験料については、別に定める。

5 再試験は、期日を定めて1回限りおこなう。

6 再試験受験料納付書の領収書は受験の際に提示すること。また、レポートの場合は、領収書のコピーを添付して提出すること。

7 再試験の評価は試験の得点の80%とし、評価点は最高60点とする。

(他の学部又は本学部他学科の授業科目の履修)

第21条 他の学部の授業科目を履修しようとする者は、あらかじめ学部長に申し出て、授業科目担当教員の承認及び学長の許可を必要とする。

2 学生の所属する学科以外の本学部他学科又は他学部が開設する専門教育科目のうち、共通開設科目以外の授業科目は別に定める手続きを経て、他の自由選択科目の修得単位数と合わせて18単位まで自由選択科目として卒業要件修得単位数に算入することができる。

3 前項の単位数を超えて修得した授業科目の単位は、卒業要件単位には算入しない。

(他の大学、短期大学又は大学以外の教育施設等における学生の履修)

第22条 他の大学、短期大学又は高等専門学校の特攻科における授業科目の履修は、当該学生の所属する学科において教育上有益と認めるときに限り、学長がこれを許可する。

2 前項により与えることができる単位数は、60単位を超えないものとする。

(再履修)

第23条 単位を修得できなかった授業科目については、再履修することができる。

2 再履修を希望する授業科目については、第9条に定める履修申告をしなければならない。

第3章 進級・卒業見込み及び卒業研究

(学年の進級)

第24条 進級の時期は学年の初めとする。

2 2年次から3年次への進級は、学生と教員の面談に基づいて教育運営委員会において審議し、学長が決定する。

(卒業見込証明書)

第25条 卒業見込証明書は、前年度末までに自由科目を除く総修得単位数が90単位以上の者に交付することができる。

(卒業研究)

第26条 本学部学生は、卒業研究（「キャリア発展ゼミナール」）を履修しなければならない。

2 卒業研究の取扱いについては別に定める。

第4章 聴講生・特別聴講学生

(聴講生)

第27条 本学部の授業科目の聴講を希望する者に対しては、学長が許可する。

2 聴講を許可できる授業科目は、原則として演習科目及び受講生数制限科目以外の全ての科目とする。

(出願の時期及び手続)

第28条 聴講生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(聴講の許可)

第29条 聴講生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が聴講を許可する。

(聴講期間)

第30条 聴講生の聴講期間は1年以内とする。

(登録料及び聴講料)

第31条 登録料及び聴講料は、学則第63条に定めるところによる。

(聴講科目の制限)

第32条 聴講できない授業科目については別に定める。

(聴講生の心得)

第33条 聴講生は、学内諸規程を守らなければならない。

2 聴講生として不適当であると認められたときは、聴講許可を取り消すことがある。

(特別聴講学生)

第34条 特別聴講学生については、別に定める。

第5章 科目等履修生

(科目等履修生)

第35条 学則第55条により授業科目の履修を希望する者に対しては、学長が履修を許可する。

2 履修を許可できる授業科目は、原則として演習科目及び受講生数制限科目以外の全ての科目とする。

3 科目等履修生で、登録科目の試験等に合格した者には所定の単位を与える。

4 単位を修得した授業科目については単位修得証明書を交付することができる。

(科目等履修生の履修資格)

第36条 科目等履修生として本学部の授業科目履修を許可される者は、学則第18条に定める資格を有する者及び大学において科目等履修生として適当であると認めた者とする。

(出願の時期及び手続)

第37条 科目等履修生として志願する者は、別に定める所定の期日までに所定の願書を提出しなければならない。

(科目等履修生の期間)

第38条 科目等履修生の期間は、許可された授業科目の授業が終了する学期末までとする。ただし、引き続き履修を希望する場合は、学長が許可し、その期間を更新することができる。

(科目等履修生の許可)

第39条 科目等履修生は、教育研究に支障がない場合に限り、学長が履修を許可する。

(登録料及び履修料)

第40条 科目等履修生として本学部の授業科目の履修を許可された者の登録料及び履修料は、学則第63条に定めるところによる。

(履修科目の制限)

第41条 科目等履修生は、教職課程の教育実習は履修できない。(ただし本学及び九州女子短期大学卒業生は除く。)

(単位認定)

第42条 科目等履修生でその受講した授業科目の試験に合格した者には、所定の単位を認定する。

2 科目等履修生で本学又は他の大学で単位を修得した者が、本学部の正規の課程に入学した場合、学長が本学部の単位として算入することを認めることができる。

(科目等履修生の心得)

第43条 科目等履修生は、学内諸規程を守らなければならない。

2 科目等履修生として不適当であると認められたときは、履修許可を取り消すことがある。

第6章 学士入学、編入学、転入学、再入学、転部、転科及び転コース

(学士入学者、編入学者、転入学者、再入学者及び転部・転科の単位認定)

第44条 学則第21条、第22条、第23条及び第25条の規定により、学士入学、編入学、転入学及び転部・転科を許可された学生の単位認定は、本学部、学科における授業科目及びその単位数に相当すると認められる場合の単位を認定する。

(入学前の既修得単位等の認定)

第45条 新たに1年次に入学を許可された者で、学則第37条に該当する者は、60単位を超えない範囲で、本学で履修したものとみなし、単位を認定する。

2 既修得単位の認定を希望する者は、別に定める所定の期日までに、必要な書類を提出しなければならない。

(転部・転科・コース変更)

第46条 転部・転科を希望する者は、理由を付した願書を所属する学科長を通して学部長に提出しなければならない。

2 前項で受け入れる学科は、別に定める方法で選考を行い、学長がこれを許可する。

3 転部・転科ができるのは、2年次又は3年次の学年始めとし、受け入れ学科に欠員がある場合に限る。

4 一度転部・転科した学生は再度転部・転科はできない。

5 転部・転科についての出願の期間は毎年2月末日までとする。

6 1年次の後期に所属を決定した本学部学科のコースの変更は、学長が各年次の初めに認めることがある。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 転科者への適用は、平成14年度以降とする。

3 学士入学者及び編入学者への適用は平成15年度以降とする。

附 則

(施行期日)

1 この規程は、平成14年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規程は、平成13年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成17年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 転科者への適用は平成18年度以降とする。
- 3 学士入学者及び編入学者への適用は平成19年度以降とする。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行し、平成19年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。ただし、海外留学先の大学等の教育施設で修得した単位の認定は、第26条の規定にかかわらず、平成21年度以前の入学者について従前の例による。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行し、平成27年度入学生より適用する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。

(授業科目等、卒業資格に関する経過措置)

- 2 第3条、第4条、第7条及び第34条の規定にかかわらず、平成30年度以前の入学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和2年4月1日から施行する。

(授業科目等に関する経過措置)

- 2 第3条及び第7条の規定にかかわらず、平成31年度以前の入学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和3年度入学者（学士入学者、編入学者で令和3年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和4年度入学者（学士入学者、編入学者で令和4年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和5年度入学者（学士入学者、編入学者で令和5年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和5年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和5年度入学者（学士入学者、編入学者で令和5年4月1日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和 7 年度入学者（学士入学者、編入学者で令和 7 年 4 月 1 日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の規程は、令和 8 年度入学者（学士入学者、編入学者で令和 8 年 4 月 1 日以降に旧規定が適用される学年次に入学した者を除く。）から適用し、同年度前の在学者については、従前の例による。

別表1 卒業に要する単位の修得区分

児童・幼児教育学科	
総合共通科目	30単位
必修科目	6単位
選択科目	24単位
専門教育科目	76単位
学部共通科目	2単位以上
学科共通科目	19単位以上
コース科目	20単位以上
ゼミナール科目	6単位
自由選択科目	18単位
合 計	124単位
総合共通科目 次の各区分ごとに所定の単位を履修し、合計30単位以上を修得すること。 (必修を含む。) 教養教育科目（文化・芸術領域） 2単位以上 教養教育科目（歴史・社会領域） 2単位以上 教養教育科目（人間・環境領域） 2単位以上 言語・異文化理解科目 5単位以上 情報教育科目 2単位以上 キャリア教育科目 4単位以上 専門教育科目 学科共通科目19単位以上には、初等教育領域から12単位以上を修得すること。 自由選択科目 自由選択科目18単位には、次の(1)から(5)の科目を履修し修得した単位のうち、合計18単位を限度とする単位数を充てる。 (1)図書館司書課程科目 (2)学校図書館司書教諭課程科目 (3)K-CIP 科目 (4)自学科で単位修得した科目のうち、卒業に要する単位数を超える科目 (5)自学部他学科もしくは他学部で単位修得した科目	

心理・文化学科	
総合共通科目	30単位
必修科目	5単位
選択科目	25単位
専門教育科目	76単位
学部共通科目	2単位以上
コース科目	20単位以上
ゼミナール科目	6単位
自由選択科目	18単位
合 計	124単位
総合共通科目 次の各区分ごとに所定の単位を履修し、合計30単位以上を修得すること。 (必修を含む。) 教養教育科目（文化・芸術領域） 2単位以上 教養教育科目（歴史・社会領域） 2単位以上 教養教育科目（人間・環境領域） 2単位以上 言語・異文化理解科目 5単位以上 情報教育科目 2単位以上 キャリア教育科目 3単位以上 自由選択科目 自由選択科目18単位には、次の(1)から(5)の科目を履修し修得した単位のうち、合計18単位を限度とする単位数を充てる。 (1)図書館司書課程科目 (2)学校図書館司書教諭課程科目 (3)K-CIP 科目 (4)自学科で単位修得した科目のうち、卒業に要する単位数を超える科目 (5)自学部他学科もしくは他学部で単位修得した科目	

別表2 総合共通科目年次配当表（人間科学部共通）

区分		授 業 科 目	科目の種類 及び単位数	授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
					1 年		2 年		3 年		4 年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
教養教育科目	文化・芸術領域 歴史・社会領域 人間・環境領域	ことばと日本文化	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)					※()はいずれかの時期で履修 (以下同様)	
		ことばと異文化	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		情 報 文 化 論	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		ス ポ ー ツ の 文 化	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		歴 史 と 国 際 情 勢	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)					教免必修	
		現代国家と法 (日本国憲法)	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		暮 ら し と 経 済	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)					教免必修	
		人 権 ・ 同 和 教 育	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		人 間 と 哲 学	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
		生 命 と 地 球	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)						
心 の 科 学	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)								
共生社会を生きる	2	講義	(2)	(2)	(2)	(2)								
言語・異文化理解科目		日 本 語 表 現 法Ⅰ	1	演 習		2							教免必修 教免必修	
		日 本 語 表 現 法Ⅱ	1	演 習			2							
		日 本 語 表 現 法Ⅲ	1	演 習				2						
		英 語Ⅰ	1	演 習	2									
		英 語Ⅱ	1	演 習		2								
		英語コミュニケーションⅠ	1	演 習			2							
		英語コミュニケーションⅡ	1	演 習				2						
		実 用 英 語	1	演 習					2					
		中 国 語Ⅰ	1	演 習	2									
		中 国 語Ⅱ	1	演 習		2								
		中 国 語Ⅲ	1	演 習			2							
		中 国 語Ⅳ	1	演 習				2						
		実 用 中 国 語	1	演 習					2					
		韓 国 語Ⅰ	1	演 習	2									
		韓 国 語Ⅱ	1	演 習		2								
		韓 国 語Ⅲ	1	演 習			2							
		韓 国 語Ⅳ	1	演 習				2						
		実 用 韓 国 語	1	演 習					2					
イングリッシュワークショップ	1	演 習	(2)	(2)	(2)	(2)					年間を通して適切な時期に行う			
海 外 研 修	2	実 習	*	*	*	*	*	*	*	*				
情報教育科目		情 報 処 理 演 習Ⅰ	1	演 習	2									
		情 報 処 理 演 習Ⅱ	1	演 習		2								
		情 報 処 理 演 習Ⅲ		1	演 習			2						
		情 報 処 理 演 習Ⅳ		1	演 習				2					
		情 報 科 学 概 論	2	講 義	2									
		データサイエンス	2	講 義		2								
		アルゴリズムとプログラミング	2	講 義			2							
		I C T 活 用 法	2	講 義				2						
科目	健康	情 報 処 理 技 術	2	講 義					2				教免必修 教免必修	
		ス ポ ー ツ	1	実 技	(2)	(2)								
キャリア教育科目	キャリアデザイン領域	キ ャ リ ア 基 礎 演 習Ⅰ	1	演 習	*	*							年間を通して適切な時期に行う	
		キ ャ リ ア 基 礎 演 習Ⅱ	1	演 習			*	*						
		キ ャ リ ア 基 礎 演 習Ⅲ	1	演 習					*	*				
		キ ャ リ ア デ ザ イ ンⅠ		1	演 習					2				
		キ ャ リ ア デ ザ イ ンⅡ		1	演 習						2			年間を通して適切な時期に行う
		イ ン タ ー ン シ ッ プⅠ	2	実 習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
		イ ン タ ー ン シ ッ プⅡ	2	実 習	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
		ス キ ル ア ッ プ 講 座B	1	演 習	2									
	ス キ ル ア ッ プ 講 座C	1	演 習		2									
	ス キ ル ア ッ プ 講 座D	1	演 習					2						
	ス キ ル ア ッ プ 講 座E	1	演 習						2					
	ス キ ル ア ッ プ 講 座F	1	演 習				2							
	ス キ ル ア ッ プ 講 座G	1	演 習					2						
	ス キ ル ア ッ プ 講 座H	1	演 習						2					
	ス キ ル ア ッ プ 講 座I	1	演 習								2			
	ス キ ル ア ッ プ 講 座J	1	演 習		2									
	ス キ ル ア ッ プ 講 座O	1	演 習		2									
	ス キ ル ア ッ プ 講 座R	1	演 習			2								
	ス キ ル ア ッ プ 講 座S	1	演 習				2							

別表3 児童・幼児教育学科 専門教育科目年次配当表（1）

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
						1 年		2 年		3 年		4 年		
		必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学部共通科目	人 間 科 学 概 論	2			講 義	2								
	心 理 学 概 論		2		講 義	2								
	発 達 心 理 学		2		講 義	2								
	学 習 ・ 言 語 心 理 学		2		講 義		2							
	コミュニケーション概論		2		講 義				2					
	社 会 調 査 法		2		講 義			2						
	教育・学校心理学		2		講 義				2					
学科 共通 科目	初 等 教 育 領 域													
	特別支援教育の理解（障害児支援教育）		2		講 義	2								
	教 職 概 論		2		講 義	2								
	教 育 原 論		2		講 義		2							
	教 育 心 理 学		2		講 義		2							
	教 育 制 度 論		2		講 義					2				
	特 別 支 援 教 育 論		2		講 義					2				
	教育方法・技術論（情報通信技術の活用を含む。）		2		講 義			2						
	教育課程論（初等）		2		講 義			2						
	初等教育実習事前事後指導		1		講 義					*	*	*	*	
	初 等 教 育 実 習Ⅰ		4		実 習						*			
	初 等 教 育 実 習Ⅱ		2		実 習						*			
	初 等 教 育 実 習Ⅲ		2		実 習							*		
	教職実践演習（初等）		2		演 習								2	
	特 別 支 援 教 育 領 域													
	障害者教育総論Ⅰ		2		講 義	2								
	障害者教育総論Ⅱ		2		講 義		2							
	病 弱 教 育		2		講 義				2					
	知的障害者の心理・生理・病理		2		講 義			2						
	知的障害者教育		2		講 義				2					
	肢体不自由者の心理・生理・病理		2		講 義			2						
	肢体不自由者教育		2		講 義				2					
	肢体不自由者指導法		2		講 義					2				
	発達障害教育総論		2		講 義					2				
	病弱者の心理・生理・病理		2		講 義			2						
	障害者の病理・保健		2		講 義					2				
	知的障害者指導法		2		講 義					2				
	視覚障害教育総論		2		講 義						2			
	聴覚障害教育総論		2		講 義						2			
	重複障害教育総論		2		講 義						2			
	特別支援学校教育実習事前事後指導		1		講 義							*	*	
	特別支援学校教育実習		2		実 習							*	*	

別表3 児童・幼児教育学科 専門教育科目年次配当表(2)

区 分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
						1 年		2 年		3 年		4 年			
		必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
こ ー ス 教 育 こ ー ス 科 目	国語科教育概論（書写を含む。）		2		講 義		2								
	算数科教育概論		2		講 義		2								
	生活科教育概論		2		講 義				2						
	社会科教育概論		2		講 義		2								
	図 画 工 作		2		演 習		2								
	理 科 教 育 概 論		2		講 義			2							
	家庭科教育概論		2		講 義				2						
	体 育		2		演 習				2						
	器 楽 基 礎		2		演 習			2							
	声 楽 基 礎		2		演 習				2						
	国語科指導法		2		演 習			2							
	社会科指導法		2		演 習			2							
	算数科指導法		2		演 習			2							
	理 科 指 導 法		2		演 習				2						
	図画工作指導法		2		演 習			2							
	生活科指導法		2		演 習					2					
	家庭科指導法		2		演 習					2					
	体育科指導法		2		演 習					2					
	音楽科指導法		2		演 習					2					
	器 楽 応 用		2		演 習						2				
	児 童 英 語 概 論		2		講 義				2						
	児童英語指導法		2		演 習					2					
	道德教育指導法（初等）		2		講 義					2					
	総合的な学習の時間指導法		2		講 義				2						
	特別活動指導法（初等）		2		講 義				2						
	生徒・進路指導（初等）		2		講 義					2					
	生徒・教育相談論（初等）		2		講 義					2					

別表3 児童・幼児教育学科 専門教育科目年次配当表(3)

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要				
		必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
コ ス 目	幼 児 教 育 ・ 保 育 コ ー ス	保 育 者 論		2		講 義	2											
		保 育 原 理Ⅰ		2		講 義	2											
		保 育 原 理Ⅱ		2		講 義		2										
		子どもの家庭福祉Ⅰ		2		講 義		2										
		子どもの家庭福祉Ⅱ		2		講 義			2									
		子ども保健学Ⅰ		2		講 義		2										
		子ども保健学Ⅱ		2		講 義			2									
		社 会 的 養 護		2		講 義			2									
		社会福祉原論		2		講 義	2											
		乳 幼 児 心 理 学		2		講 義						2						
		保育内容総論		2		演 習		2										
		造 形 演 習		2		演 習								2				
		教育課程・保育計画総論		2		講 義				2								
		子どもの家庭支援の心理学		2		講 義		2										
		乳 児 保 育 演 習		2		演 習				2								
		子どもの食と栄養		2		演 習					2							
		保育内容指導法（健康）		2		演 習				2								
		保育内容指導法（人間関係）		2		演 習			2									
		保育内容指導法（環境）		2		演 習				2								
		保育内容指導法（言葉）		2		演 習			2									
		保育内容指導法（表現）		2		演 習				2								
		子ども家庭支援論		2		講 義						2						
		障 害 児 保 育		2		演 習						2						
		リ ト ミ ッ ク		2		演 習					2							
		社会的養護演習		2		演 習				2								
		保育実習指導Ⅰ		2		演 習				*	*							
		保育実習指導Ⅱ		2		演 習						*	*					
		施設実習指導Ⅰ		2		演 習						*	*					
		施設実習指導Ⅱ		2		演 習								*	*			
		保 育 実 習Ⅰ		2		実 習				*	*							
		保 育 実 習Ⅱ		2		実 習						*	*					
		施 設 実 習Ⅰ		2		実 習						*	*					
		施 設 実 習Ⅱ		2		実 習								*	*			
		幼児理解・相談論		2		演 習					2							
		子育て支援演習		2		演 習								2				
		保育実践演習		2		演 習										2		
子どもの理解と援助		2		演 習				2										
乳 児 保 育 論		2		講 義				2										
子どもの健康と安全		2		演 習				2										
幼 児 と 健 康		2		演 習				2										
幼児と人間関係		2		演 習		2												
幼 児 と 環 境		2		演 習				2										
幼 児 と 言 葉		2		演 習		2												
幼 児 と 表 現		2		演 習				2										
ゼ ミ ナ ー ル 科 目	ゼミナールⅠ	1			演 習				2									
	ゼミナールⅡ	1			演 習					2								
	ゼミナールⅢ	1			演 習						2							
	ゼミナールⅣ	1			演 習							2						
	キャリア発展ゼミナール	2			演 習								*	*		年間を通して適切な時期に行う		

別表 4 心理・文化学科 専門教育科目年次配当表（1）

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
		必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
学部共通科目	人 間 科 学 概 論	2			講 義	2								
	心 理 学 概 論		2		講 義	2								
	発 達 心 理 学		2		講 義	2								
	学 習 ・ 言 語 心 理 学		2		講 義		2							
	コミュニケーション概論		2		講 義			2						
	社 会 調 査 法		2		講 義			2						
	教育・学校心理学		2		講 義			2						
心理学コース 科目	社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団心理学）		2		講 義		2							
	健康・医療心理学		2		講 義		2							
	知覚・認知心理学Ⅰ（知覚心理学）		2		講 義	2								
	臨床心理学概論		2		講 義		2							
	知覚・認知心理学Ⅱ（認知心理学）		2		講 義			2						
	心理学研究法		2		講 義			2						
	心理学的支援法		2		講 義				2					
	心理学統計法Ⅰ		2		演 習			2						
	心理学統計法Ⅱ		2		演 習				2					
	心理学実験Ⅰ		2		実 験			4						
	心理学実験Ⅱ		2		実 験				4					
	心理的アセスメント		2		演 習			2						
	神経・生理心理学		2		講 義					2				
	社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族心理学）		2		講 義					2				
	心 理 演 習		2		演 習					2				
	精神疾患とその治療		2		講 義			2						
	障害者・障害児心理学		2		講 義				2					
	人体の構造と機能及び疾病		2		講 義						2			
	感情・人格心理学		2		講 義		2							
	福祉心理学		2		講 義				2					
	産業・組織心理学		2		講 義				2					
	司法・犯罪心理学		2		講 義						2			
	公認心理師の職責		2		講 義							2		
	関 係 行 政 論		2		講 義						2			
	心 理 実 習		2		実 習			*	*	*	*	*	*	*

別表4 心理・文化学科 専門教育科目年次配当表（2）

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数		授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
					1 年		2 年		3 年		4 年		
		必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
国語・書道教育コース科目	日本語学概論（音声言語を含む。）	2		講義	2								※コース必修 ※コース必修 ※コース必修 ※コース必修
	日本古典文学史	2		講義	2								
	楷書法Ⅰ	1		実技	2								
	楷書法Ⅱ	1		実技			2						
	行草書法Ⅰ	1		実技		2							
	行草書法Ⅱ	1		実技			2						
	日本語文法	2		講義			2						
	日本近現代文学史	2		講義		2							
	書写書道Ⅰ	1		実技			2						
	書写書道Ⅱ	1		実技				2					
	日本語史概論	2		講義		2							
	日本古典文学	2		講義			2						
	日本古典文学演習Ⅰ	2		演習				2					
	日本古典文学演習Ⅱ	2		演習					2				
	漢文学Ⅰ	2		講義					2				
	漢文学Ⅱ	2		講義						2			
	中国書道史	2		講義					2				
	日本書道史	2		講義						2			
	書道論	2		講義					2				
	鑑賞	2		講義					2				
	篆隸書法Ⅰ	1		実技					2				
	篆隸書法Ⅱ	1		実技							2		
	仮名書法Ⅰ	1		実技					2				
	仮名書法Ⅱ	1		実技								2	
	漢字仮名交じり書法Ⅰ	1		実技					2				
	漢字仮名交じり書法Ⅱ	1		実技								2	
	教職概論※	2		講義	2								
	教育原論※	2		講義		2							
	教育心理学※	2		講義		2							
	生徒・教育相談論（中等）※	2		講義					2				
	日本語学演習Ⅰ	2		演習					2				
	日本語学演習Ⅱ	2		演習						2			
	日本近現代文学演習Ⅰ	2		演習				2					
	日本近現代文学演習Ⅱ	2		演習					2				
	国語科教材分析	2		講義			2						
	コース実践演習Ⅰ	2		演習					2				
	コース実践演習Ⅱ	2		演習						2			
	コース実践演習Ⅲ	2		演習							2		
文化文芸コース	文化文芸概論	2		講義	2								
	日本文学概論	2		講義		2							
	日本近現代文学	2		講義			2						
	日本語の歴史	2		講義			2						
	日本語の古典	2		講義				2					
	文章表現	2		講義					2				
	ビジュアル文化論	2		講義						2			
	メディアと現代文化	2		講義			2						
	生活の中の書	2		講義		2							
	デジタル書道	2		講義				2					
	書文化研究	2		講義					2				
	水墨画演習	1		演習					2				
	文化文芸インターンシップ	1		実習			*	*	*	*	*	*	
	商品プランナー実務論	2		講義					2				

別表4 心理・文化学科 専門教育科目年次配当表(3)

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
		必修	選択	自由		1 年		2 年		3 年		4 年		
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
ゼミナール科目	ゼミナールⅠ	1			演 習			2						年間を通して適切な時期に行う
	ゼミナールⅡ	1			演 習				2					
	ゼミナールⅢ	1			演 習					2				
	ゼミナールⅣ	1			演 習						2			
	キャリア発展ゼミナール	2			演 習							*	*	
教職に関する専門教育科目	教 育 行 政 学			2	講 義					2				※この区分科目は 教職免許状取得希望者のみ履修可能。 ※この区分科目は 卒業要件単位には 含まれない。
	特別支援教育論			2	講 義					2				
	教育課程論（中等）			2	講 義			2						
	国語科教育法Ⅰ			2	講 義		2							
	国語科教育法Ⅱ			2	講 義			2						
	国語科教育法Ⅲ			2	講 義				2					
	国語科教育法Ⅳ			2	講 義					2				
	書道科教育法Ⅰ			2	講 義				2					
	書道科教育法Ⅱ			2	講 義					2				
	道徳教育指導法（中等）			2	講 義					2				
	特別活動・総合的な学習の時間指導法			2	講 義				2					
	教育方法学（情報通信技術の活用を含む。）			2	講 義				2					
	生徒・進路指導（中等）			2	講 義				2					
	中等教育実習事前事後指導			1	講 義						*	*		
	中等教育実習Ⅰ			2	実 習							*		
中等教育実習Ⅱ			2	実 習							*			
教職実践演習（中等）			2	演 習								2		

別表5 自由選択科目年次配当表（人間科学部共通）

区分	授 業 科 目	科目の種類 及び単位数		授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要	
		必修	選択		1 年		2 年		3 年		4 年			
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
自由 選 択 科 目	図 書 館 司 書 課 程 科 目	図 書 館 概 論	2		講 義	2								※基礎資格とし て、教職免許を 取得すること。
		生涯学習概論	2		講 義		2							
		情報資源組織論	2		講 義			2						
		情報資源組織演習Ⅰ	1		演 習			2						
		情報資源組織演習Ⅱ	1		演 習				2					
		情報サービス論	2		講 義			2						
		情報サービス演習Ⅰ	1		演 習				2					
		情報サービス演習Ⅱ	1		演 習					2				
		児童サービス論	2		講 義				2					
		図書館情報技術論	2		講 義			2						
		図書館情報資源概論	2		講 義		2							
		図書館サービス概論	2		講 義			2						
		図書館制度・経営論	2		講 義					2				
		図書館サービス特論・図書館情報資源特論	2		講 義								2	
	図書及び図書館史・図書館基礎特論	2		講 義								2		
	K ・ C I P 科 目	学校経営と学校図書館	2		講 義					2				
		学校図書館メディアの構成	2		講 義						2			
		情報メディアの活用	2		講 義							2		
		学習指導と学校図書館	2		講 義								2	
		読書と豊かな人間性	2		講 義								2	
		公務員試験概論	1		演 習	(2)	(2)							
		数的処理Ⅰ	1		演 習		2							
		社会科学Ⅰ	1		演 習		2							
		文章理解	1		演 習				2					
		数的処理Ⅱ	1		演 習			2						
		数的処理Ⅲ	1		演 習				2					
		社会科学Ⅱ	1		演 習			2						
		自然科学	1		演 習			2						
		人文科学	1		演 習				2					
		憲法演習	1		演 習			2						
		行政法演習	1		演 習				2					
		民法(総則、物権)演習	1		演 習			2						
		民法(債権、親族、相続)演習	1		演 習				2					
		ミクロ経済学演習	1		演 習			2						
マクロ経済学演習		1		演 習				2						
法律科目演習Ⅰ	1		演 習					2						
法律科目演習Ⅱ	1		演 習						2					
経済科目演習Ⅰ	1		演 習					2						
経済科目演習Ⅱ	1		演 習						2					
行政科目演習Ⅰ	1		演 習					2						
行政科目演習Ⅱ	1		演 習						2					
会計学演習	1		演 習					2						
専門科目記述式演習	1		演 習						2					
公務員試験直前対策Ⅰ(教養)	1		演 習					2						
文章理解演習	1		演 習					2						
人文科学演習	1		演 習					2						
公務員試験直前対策Ⅱ(教養)	1		演 習						2					
社会科学演習	1		演 習						2					
自然科学演習	1		演 習						2					
公務員試験直前対策Ⅰ(SPI)	1		演 習					2						
公務員試験直前対策Ⅱ(SPI)	1		演 習						2					
公務員試験直前対策Ⅲ(教養)	1		演 習							2				
公務員試験直前対策Ⅲ(SPI)	1		演 習							2				
公務員人物試験対策	1		演 習							(2)	(2)			

※他学部履修で自由選択科目とする科目は別途指示する。

別表6 留学生特別科目年次配当表（人間科学部共通）

授 業 科 目	科目の種類 及び単位数			授業形態	毎 週 授 業 時 間 数								摘 要
					1 年		2 年		3 年		4 年		
	必修	選択	自由		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
初 級 日 本 語 I A		2		演 習	(4)	(4)							※この区分科目は留 学生のみ履修可能。
初 級 日 本 語 II A		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 I B		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 II B		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 I C		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 II C		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 I D		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 II D		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 I E		2		演 習	(4)	(4)							
初 級 日 本 語 II E		2		演 習	(4)	(4)							
日 本 語 講 座 I		2		講 義	2								
日 本 語 講 座 II		2		講 義		2							
日 本 事 情 I		2		講 義	2								
日 本 事 情 II		2		講 義		2							
比 較 文 化 I		2		講 義			2						
比 較 文 化 II		2		講 義				2					